

令和3年度 自己評価と学校関係者評価

学校自己評価	学校関係者評価	
	意見	対応
(1)教育理念・目標 ・学校の理念・目標・育成人材像が明確に定められ、国際化する社会、企業・業界のニーズを定義できている ・時代の変化に対応する将来の構想について適宜見直しが必要とされている	学校としての目標、学生自身が在学中に目指すべきゴールが明確になっており、学生が自らの目標を考えやすい環境になっていると感じます。	職員一同が教育理念・目標を共有し具体的に教育現場に活かしていくようさらに努力していきます。
(2)学校運営 ・年度目標に沿って運営方針を定め事業計画を策定している ・学生の進路先である企業・業界・大学、学生募集窓口の高等学校や海外学校・提携エージェントとの連携はできている ・外部環境や時代の変化に対応できる組織運営を構築し、職員の育成を図ることが求められている	教育理念・目標を踏まえたカリキュラムコンセプトをしっかりと立てられており、新型コロナウイルス対策として見直しも図れていると感じます。企業との連携は図れていますが、点での連携が多いためこれを線にする 努力をしてほしいと思います。学生作品「卒業進級制作発表会」制作過程で各企業人評価のイベントが設けられており外部環境の変化にはも対応出来ていると感じます。	企業連携は出来ているが、単発の連携が多いのでこれらを年間を通じて連携できる仕組みを毎年振り返りながら進めていきます。昨今は新型コロナウイルス対策としてオンラインZOOMを使ったメリットを活かして、学生との接点を図っていきます。
(3)教育活動 ・入学希望者のニーズや企業からの要望について、時代の変化を取り入れながら活動している ・就職先や進学先で求められる要件と課題を明確にしカリキュラムに反映している ・社会人として直ぐに対応できるよう、学生の生活態度や行動規範について学校生活や宿舍生活においても指導している ・留学生については日本社会に対応できるよう、日常生活に踏み込んだ指導を行っている ・進路先での技術・学力評価、人物評価を想定した目線を養うことを教員が心がけている ・卒業生の情報を収集し、進路先での問題点を抽出している	就職した卒業生との連携を強め、各企業が新入社員に何を期待しているか卒業生が実際の現場で感じていること、リアルな意見を収集できるような体制を作り、より企業のニーズに沿った教育を心がけて欲しいです。シリコンバレーでの短期研修で、学生達のワールドワイドなトレンドやニーズを知る貴重な機会で、オンラインになったとしても継続できて良かった。	OBとの連携を深め、卒業生による企業セミナーを企画し、連携を深めていきます。新型コロナの中で、オンラインでの シリコンバレー研修は継続して行っていますが、今後新型コロナ禍が収まれば渡航して現地での研修を再開を目指しています。
(4)学習成果 ・資格対策やものづくりの向上については一定の成果をあげているが、より実践的な技術を磨くことを課題としている また、キャリア教育の面で課題を整理している ・日本語能力試験対策においても一定の成果をあげている	この2,3年の新入社員を見ると、社内宛て・社外宛て問わず、メールや提出書類において誤字脱字や文法のおかしなものが目立ちます。情報が誤って伝わったり、お客様からクレームを頂くケースもございます。読む側を意識し、書いた文章の見直しなど心掛けるよう、学生時より意識させることが 重要と思われるます。	実践的な技術、知識はもとより指摘いただいた社会常識に対してもカリキュラム内に取り入れ教育を行っていく。1年次は基礎学力と資格取得を目標として引き続き力を注ぎたい。
(5)学生支援 ・学生との個別面談などを通じて個々の学習面、生活面での観察サポートは一定の成果をあげている ・保護者や出身校との情報共有を含め学生のメンタルトラブルの予防や対応を図っている ・留学生アルバイトについて、アルバイト先開拓やクレーム窓口を含め担当職員をおき管理している	学生の体調やメンタル面について、個々をよく見ていると感じます。継続して学生に寄り添った支援を行っていただきます。専門学校では通常行われないう、保護者会や保護者面談を行っておられ、情報共有や問題解決に保護者と協力関係が出来ていると考えます。留学生に対して、外国人の人材を登用し窓口とされている点については評価できます。	継続して行います。またより効率的で効果の出る人員の配置を行っていきたくと考えます。4年制のカリキュラムより充実して、受入体制を整えていきます。
(6)教育環境 ・施設・設備についての課題を抽出し、解決にむけ改善着手している ・計画に基づいて防災対策を整備している	教室の改修や実習機器の最新機器へ更新するなど日々を学内で過ごす学生にとって学習環境が良くなった また、ムスリムの留学生に対しお祈りスペースの設置などを行っている点 は企業としても参考になります。	IT業界への変化に対応できるように継続して行います。ネットワークの充実と専従管理者を対応していきます。
(7)学生の受け入れ募集 ・目標に向け計画的にルールに従って活動している ・学習成果が評価されるように情報発信している、また効果的な情報発信ができるよう工夫している ・留学生については、現地面接と家庭訪問により経済的基盤などを確認し、入国審査に対応できるようにしている	オープンキャンパスを年間30回以上も開催されておられ、またそれ以外の会場ガイダンスで、入学希望者に情報を伝える努力をしていると感じます。また、学校ホームページやSNS等で学生作品等の情報が発信されていることで入学を 検討する上での判断材料となっている。	入学希望者によりわかりやすく本校の魅力や成果を伝える為、ホームページの改定やSNS等を利用し発信していきます。
(8)財務 ・デザイン・コンピュータ学科の学生募集はコンスタントに毎年入学者数が増加の実績をあげている ・日本語科は新型コロナ禍で海外からの入学が厳しく、留学生は募集は厳しい状況であるが入国が始まり改善の状況が見えてきた	継続してください。	教育理念に基づいた教育を行う事により、安定した財政基盤を築いていきます。
(9)法令等の遵守 ・平成25年度より自己評価を実施し公開している ・留学生の受け入れ、生活支援において在籍管理を徹底している また、犯罪や不法滞在を未然に防ぐべく、警察との情報交換を定期的に実施している	留学生に限らず、法令遵守や社会生活のマナー等については、専用に時間を設けるなど、よく取り組んでいると思います。引き続き、継続して取り組んで下さい。引き続き客観的に意見・評価をしていきたい。	地元の阿倍野警察署とも連携・講習会を継続して周知していき、事故トラブルが無いように取り組んでいきます。
(10)社会貢献・地域貢献 ・学生が地域の祭礼に参加しイベントのサポートを実施している、また近隣の清掃を定期的に実施している ・教育業界の各団体の役員・メンバーとなり活動している ・日本語教師養成講座を年2回開講し、社会人の転職活動を支援している ・ウクライナ避難支援に向けて動き出す	地域の祭礼や清掃活動などに参加する機会はあまり無く、学生にとって貴重な経験になっているかと思えます。引き続き継続して取り組んで下さい。特に祭礼や清掃は周辺地域の方々に学生の姿を見ていただけるため、大切にしているのが学習面だけではないということを知っていただける良い機会であり、継続してください。	新型コロナ禍で活動の機会が減っているが、出来る事に参加して継続して、学外での活動を通じて人間教育をしていきます。ウクライナ避難支援活動を行い、学生支援に取り組んでいきます。応援をお願いします。